

文化の秋を堪能

文化の日の11月3日、4日の2日間にわたり、きらくやまふれあいの丘および谷和原公民館



ステージでの発表の様子

で、第7回つくばみらい市文化祭が盛大に開催されました。きらくやまふれあいの丘ふれあいの館会場では、2日間にわたり44団体の皆さんが、華麗なダンス・舞踊・演奏など日頃の

練習の成果を披露しました。また、各会場では機織り体験、茶道教室、押花教室などさまざまな体験コーナーが設けられたほか、熱心に制作に取り組んだ作品の展示が行われ、来場者はさまざまな文化に触れ合うことができました。

商工祭 おおにぎわい

日頃のご愛顧に感謝し、市商工会が総力を挙げた「商工祭」が10月27日、総合運動公園野球場で開催されました。

会場では、各出展ブースでの販売、体験コーナー、長蛇の列

を作ったお楽しみ抽選会、今では見ることが少なくなった上様式での餅まきなどが行われ、詰め掛けた多くの来場者でにぎわいました。

また、ステージ上ではつくばみらい市出身の演歌歌手夏樹えりさんによる歌謡ショーや、あっち幾三さんによるものまねショーなども行われ、来場者は大きな拍手を送っていました。

小絹小で交通安全教室

小絹小学校（鈴木不二男校長）で10月11日、茨城県トラック協会青年部会常総支部の協力で、交通安全教室が開催されました。

当日は、実物のトラックが運ば込まれ、子どもたちが運転席に乗り、運転席からの視界を体験しました。石谷想さんは「パイロンが全然見えなくて驚いた。交通事故に遭わないよう、ちゃんと右左を見てから渡るようにします」と話してくれました。



パイロンは見えるかな？

私たちが献立を考えました

県の学校給食研究推進校に指定されている小張小学校（大藤克義校長）で10月25日、研究発



ご飯、おかわり～！

表会が行われ、市内外から多くの参観者が訪れ、熱心に授業などに見入っていました。

当日は、6年1組の児童たちが考えた「むぎごはん、牛乳、さんまのかばやき、みずなのサラダ、きのこじる、りんごヨーグルト」の献立が机に並びました。献立を考えたグループの児童は「栄養のバランスを考えるのが難しかった」と、当初の「海鮮かきあげ」から「さんまのかばやき」へと献立を変更した経緯を話してくれました。



アイヘン♪

市内事業者の皆さんがボランティア活動

㈱クボタ筑波工場の皆さんが10月13日、福岡塚さくら公園および小貝川河川敷1・7kmにわたり、清掃活動を行いました。

今年で5年目となる清掃活動には、198人の方が協力くださいました。「クボタeプロジェクト」と名付けられたこの活動は、農業と水環境を扱う企業として、水辺や身近な公園の環境美化を目指し、ボランティア活動を通して地域に貢献しているという活動されています。

実行委員の梅崎さんは「この清掃活動は今年で5年目と、まだまだ始まったばかりですが、



清掃活動を行ってくれた皆さん

地域に根付いた企業を目指し、これからも継続的に実施していきたい」と話してくれました。